報　道　発　表

平成２８年１１月１日
東　　京　　税　　関

東京税関中央地区密輸出入取締対策協議会を開催

平成２８年１１月１日（火）、東京港湾合同庁舎において、第２２回東京税関中央地区密輸出入取締対策協議会を開催する。

本協議会においては、深刻な社会問題となっている不正薬物等の密輸事犯について関係取締機関との情報交換及び取締り強化のための協議を行う。

１　参加関係取締機関

東京税関、東京地方検察庁、警視庁、群馬県警察本部、埼玉県警察本部、山梨県警察本部、海上保安庁、厚生労働省関東信越厚生局麻薬取締部、法務省東京入国管理局、警察庁、東京都　　計１１機関　総勢６４名

２　最近の密輸情勢等

本年１月から９月までの間、東京税関において摘発した覚醒剤密輸入事件は３６件、押収量は約２６８kgであり、既に昨年１年間の押収量を超えている。

この背景には、密輸手口の大口化があり、海上貨物などに巧妙な隠匿工作を施し、一度に大量の覚醒剤を密輸入しようとする事犯が相次いでいる。

また、大麻密輸入事犯についても昨年同時期と比べて、押収量はやや減少したが、摘発件数は増加している。

さらに、不正薬物以外の密輸情勢としては、近年増加を続ける金地金の密輸入がさらに深刻化している。

このような情勢を踏まえ、本協議会では、これら不正薬物等の摘発・検挙状況と事犯の傾向について情報交換を行うことにより、安全・安心な社会の実現を目指し、関係機関一丸となって密輸の阻止に断固取組んでいくこととしている。

３　その他

東京税関管内では、今後、成田地区（同月１８日）、山形地区（同月３０日）、新潟地区（１２月１日）において、密輸出入取締対策協議会を順次開催する予定である。